



31歳で株式会社慶の統括本部長を務める野原靖宏さん。
中学を卒業後すぐにアルバイトで解体業界に入り、23歳で同社に入社。それ以来9年、社長と二人三脚で、同社を大きく成長させてきました。

解体現場では、重機に乗りながら指揮をとる立場にある野原さん。仕事をする上で一番気を付けていることは「何より安全」とのこと。解体は危険を伴う作業も多く、若い部下の教育には特に気を配っています。例えば、廃材の分け方や道具の整理、ダンプへの積み方など、すべてにおいて丁寧な作業を行うよう指導しています。また、「指示するだけではなく、自分の行動で示すことで若い子もついてきてくれます。この業界で長く活躍してほしい」と部下への思いを語ってくれました。

解体で出た廃材の多くはリサイクルできるため、鉄、プラスチック、アルミ、電線など一つ一つ細かく選別します。また、地面の下に隠れて見えないコンクリートの基礎もきれいに撤去します。消防署の解体では基礎がとてもしっかりと苦労したとのことでした。「あとに建てることを考えて、丁寧に撤去することが大事です。それが信頼と次の仕事を生みます」と笑顔の中にも真剣なまなざしが印象的でした。



かわちながの 働ライフ

KAWACHINAGANO HATA-LIFE

河内長野市で働く若者の仕事と暮らし

10

解体なくして創造なし

株式会社「慶」の野原 靖宏さん



取材協力

総合建設・総合解体業 株式会社 慶
原町 4-1-1 (☎ 50-4411)
<http://yoshi-44.jp/>

社員は8人。低コストでクレームのない解体工事を目指し、作業の効率化や重機操作技術の向上を図りながら、適正な廃棄物処理を通じて環境保全にも貢献しています。また、出所者も積極的に引き受け、私生活も含めて見守っています。



子どもと遊ぶ時間を大切に…

結婚5年目。2歳になる長女が言葉を覚えだし、つたない話し方がかわいくて。普段は自宅前の公園のすべり台で遊び、休日はショッピングモールなどへ出かけています。10月には長男が生まれ、今ではお風呂に入れるのが日課。2人がもう少し大きくなったら、東京ディズニーランドや城崎温泉にも連れて行きたいです。

河内長野市が、さらに発展して自然を残しながらも大きな会社やお店ができればいいなと思っています。

